

東日本大震災に係る職員派遣に関して、宮城県東松島市長と熊本県知事からお礼の書簡が届きました。

東日本大震災の被災地である宮城県東松島市の行政支援のため、県・市町村合同で「チーム熊本」として職員を派遣しています。9月20日現在の職員派遣数は、県・市町村合わせて433名にのぼり、現在も継続中です。阿蘇市からも27名の職員を派遣しています（本市は45市町村で熊本市、天草市に次ぐ3番の職員数を派遣。次ページ参照）。誌面の都合上、東松島市長からの文書のみをご紹介します。

職員派遣のお礼及び継続支援のお願いについて

宮城県東松島市長 阿部秀保

貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、東日本大震災の発生から半年が経ちましたが、発生直後より全国各地の多くの方から様々な御支援、励まし等を賜り、本市の復旧復興に当たり、私どもも元氣と勇氣をいただいております。特に、熊本県の県・市町村職員で構成する「チーム熊本」による行政機能支援においては、3月末から今日まで、多くの職員の皆様に、被災者の相談窓口など第一線で業務にあたっていたいただき、本市の被災者生活再建支援や復旧復興に多大なる御支援御協力をいただいておりますこと、衷心よりお礼申し上げます。

現在、死者、行方不明者合わせて1,139名にのぼりました。応急仮設住宅も1,750戸建設し、8月末で被災者の避難所からの移転も全員終了し、被災者の方の生活も少し変わりつつあります。

現地派遣職員からの報告

22陣（8/24、9/4）
健康福祉課 村山茂雄

3月11日に発生した東日本大震災から半年を過ぎましたが、9月16日現在の東松島市の被害状況は、死者・行方不明者約1,139名（死者は972名）、家屋被害は全・半壊・一部損壊含め約14,492戸に上っています。

阿蘇市からも既に27名の職員が宮城県東松島市への熊本県行政支援チームの一員として派遣されており、私も第22陣として、8月24日から9月4日まで11泊12日の日程で支援活動を行ってきました。

借上申請受付、④住宅応急修理申請受付、⑤生活再建支援金申請受付、⑥罹災証明・被災証明発行受付、⑦土嚢袋申請・被災住宅解体申請・撤去申請受付、⑧災害弔慰金・見舞金・援護資金・災害義援金申請受付、⑨税務関係業務、⑩各種データ入力作業などの業務を東松島市職員の指示に基づき行っています。

震災当初のように多くの被災者が行列を成すことは無くなりましたが、それでも毎日のように震災関係の各種申請や相談のために被災された方々が来庁され、また、様々な問題や生活再建に向けての不安から1件の相談等に要する時間も長くなっている状況にあります。

各種申請受付や相談を受ける中で、被災時の状況や家族構成、現在の生活状況など様々な聞き取りを行いました。が、壮絶な体験をされたにも関わらず、淡々と穏やかに説明され、私自身、記録する手が止まってしまうことも度々でした。

また、窓口に来られた被災者の方から「熊本から有難うございます。」「遠くからご苦労さま。」などの感謝



▲東松島市職員から業務の指示を受けるチーム熊本のメンバー

熊本県チームは、①総合窓口受付、②市民課相談窓口、③民間賃貸住宅

現在までの派遣の状況

宮城県東松島市への派遣職員

1	加藤勇二郎	4陣	4/16～4/22
2	北里 和輝	5陣	4/21～4/27
3	小糸 徳雄	7陣	5/1～5/7
4	森永 英治	8陣	5/6～5/12
5	荒木 孝文	9陣	5/11～5/17
6	吉田 英司	11陣	5/21～5/27
7	吉岡 喜代信	11陣	5/21～5/27
8	村山 大輔	12陣	5/26～6/6
9	浦田 陽介	12陣	5/26～6/6
10	家入 晋平	14陣	6/13～6/24
11	山口 修二	15陣	6/22～7/3
12	大和 真二	15陣	6/22～7/3
13	松本 武	15陣	6/22～7/3
14	竹原 剛	16陣	7/1～7/12
15	田上 慎也	17陣	7/10～7/21
16	釣井 真樹	17陣	7/10～7/21
17	城 貴巳彦	18陣	7/19～7/30
18	宮崎 隆	19陣	7/28～8/8
19	井 大士	19陣	7/28～8/8
20	中川 道	19陣	7/28～8/8

21	今村 和裕	20陣	8/6～8/17
22	後藤 悟	20陣	8/6～8/17
23	大津 恭一	21陣	8/15～8/26
24	原 滉樹	21陣	8/15～8/26
25	村山 茂雄	22陣	8/24～9/4
26	松田 慎司	23陣	9/2～9/13
27	村上 勇一	25陣	9/22～10/4

宮城県南三陸町への派遣職員

1	古木 なおみ	12陣	5/26～6/2
2	高藤 郁子	15陣	6/13～6/20

宮城県石巻市への派遣職員

1	坂崎 秀幸	—	4/30～5/8
---	-------	---	----------

岩手県陸前高田市への派遣職員

1	寺本 良太	—	6/18～6/27
---	-------	---	-----------

福島県いわき市への熊本県社会福祉協議会災害ボランティア派遣

1	村上 潤一	—	4/18～4/24
---	-------	---	-----------

しかしながら、まだ被災者の生活再建に向けて、各種相談や申請受付業務が山積しております。
つきましては、貴職におかれましては、引き続き職員の方について特段の御支援を賜りますようお願い申し上げます。
最後に、今日までの職員派遣支援に深く感謝申し上げますとともに、貴職の今後ますますの御発展をお祈り申し上げます。

阿蘇市東日本大震災復興支援対策本部の連絡先変更のお知らせ

4月1日の対策本部設置以来、復興支援対策室（☎22-3510）で対応していましたが、10月1日からは総務課（☎22-3111）で対応することになりましたのでお知らせします。

今後も義援金や東松島市への職員の派遣などの支援を継続し、被災地の復興を支援していきます。

や励ましの言葉を掛けていただく場面も多くあり、微力ながらも役に立っていることを実感しました。
東松島市では8月末をもって、市内の避難所はすべて閉鎖され、避難所等で生活されていた被災者の多くが仮設住宅等への入居を始めています。また、様々な復興へ向けた取り組みも始まっており、その二つに、復興を願うとともに多方面からの支援に恩返しする「ありがとう」「東松島元氣フェスタ」が8月中旬に開催され、打ち上げ花火など催物が多く、来場者で賑わい、復興に向けて一歩ずつ歩み始めているように感じました。
東松島市役所では、震災直後から8月上旬までは、土・日関係無く業務が行われており、職員の負担やストレスは相当あったものと思います。そのような中、熊本県チームをはじめ、他自治体からの行政支援は、被災された方々はもとより、東松島市職員の負担軽減にもつながったのではないかと思います。
現在、支援業務が落ち着いてきたこともあり、熊本県の東松島市行政支援チームも20名体制から10名体制での派遣となっています。しかしながら、真の復興に向けては、まだまだ5年10年という長いスパンでの支援が必要になるものと思われれます。



▲壊滅的な被害を受けた陸前高田市役所

私は、今回の被災地派遣により、人々の絆の深さや助け合いの大切さを改めて学ぶことができました。今後もしっかりと東北を合言葉に、私たちにできる支援を考えながら、被災地で体験したこと学んだことを今後の阿蘇市行政発展のために役立てていきたいと考えます。